

## 2022 GuFA ユースリーグ U-13 開催要項

- 1 目的
  - ・将来を担うジュニアユース年代のサッカー技術の向上と健全なる心身の育成を図る。
  - ・プレーヤーズファーストの理念に立ち、心身ともにクリエイティブでたくましい選手を育成する。
  - ・関東ユースリーグ(U-13)入れ替えの群馬県代表チームを決める。
- 2 主催 公益社団法人群馬県サッカー協会
- 3 主管 公益社団法人群馬県サッカー協会第3種委員会
- 4 大会の名称
  - 2022 GuFA ユースリーグ U-13 Kリーグ ※ 以下 Kリーグ  
関東リーグ入りを目指すチームで構成。関東を意識するのでKリーグと命名。
  - 2022 GuFA ユースリーグ U-13 Mリーグ ※ 以下 Mリーグ  
関東リーグ入りは考えず、県内での対戦を楽しみたいチームで構成。
- 5 会場 ※各リーグ運営委員会にて決定する。
- 6 期 日 Kリーグ・Mリーグともに 2022年6月～12月
  - ・具体的な日程は、リーグ運営委員会で正式決定する。
  - ・Mリーグは、基本的に四地区内(北毛、中毛、西毛、東毛)で開催する。  
参加チーム数が少ない場合は全県下で行う。
  - ・Kリーグは11月末日までの戦績でブロック内の順位を決定し、12月に順位決定戦を実施する。
  - ・トレセンマッチデーにはリーグ戦を入れない。
  - ・関東大会を群馬県開催する時はリーグ戦より、大会運営業務を優先する。
- 7 リーグの編成
  - 長期に渡るリーグであること。
  - 力が拮抗したチーム同士の対戦になるよう工夫すること。
  - 登録メンバーが全員出場できるよう工夫すること。
- 8 代表者会議
  - Kリーグ 会場: 邑楽町中央公民館 2F会議室 5/25(水) 19:00～
  - Mリーグ 会場: 伊勢崎市立赤堀中学校 会議室 6/1(水) 19:00～
  - 代表者会議に参加できない場合は、大会に参加できない。
- 9 参加資格
  - ①群馬県サッカー協会に第3種登録した加盟チームに所属していること。  
平成21年、2009年1月1日以降に生まれた選手であること。  
※Kリーグはこれに該当せず、中学2年生の出場は認めない。
  - ②日本サッカー協会により「クラブ申請」を承認された「クラブ」に所属するチームについては同一クラブ内の別のチームの所属する選手を移籍手続きを行うことなく本大会に参加させることができる。この場合、同一クラブ内のチームであれば、複数のチームから選手を参加させることも可能とする。  
なお、本項の適応対象となる選手の年齢は第4種年代とし、第3種およびそれ以上の年代の選手は適応対象外とする。
  - ③KリーグMリーグの両方に参加しているチームの場合、選手入れ替えを認める。
  - ④Mリーグはチーム事情でU-13年代が11人に満たない場合はU-14の参加も認める。
- 10 参加申込 所定の申込用紙に必要事項を記入し、e-mailで送る。(5/18(水)締め切り)

Kリーグ 担当者(小林淳史) e-mail fc.ora-3525@orchid.plala.or.jp  
携帯 090 2166 7520  
Mリーグ 担当者(本木 靖) e-mail litti1982@yahoo.co.jp  
携帯 090 3525 8710

11 参加費 Kリーグ 20,000円 Mリーグ 10,000円

・Kリーグは参加費を県協会口座に5/25(水)までに振り込む  
群馬銀行 県庁支店 普通口座 普通 0579434  
公益社団法人 群馬県サッカー協会 会長 針谷 章  
申込の際の注意 依頼人の欄はチーム名の前に協会事業コード312を付ける。  
(例) 312 カタオカチュウ  

---

協会事業コード番号 チーム名

・Mリーグは参加費を代表者会議にて提出する

12 競技方法 (1)11対11で行う。

(2)参加チームをブロックに分けリーグ戦を行う。その後順位決定戦を行う。  
ブロック数は、参加チームにより決定する。  
但し、Mリーグはこの限りではない。

(3)順位決定の優先順位は以下の通り

- ① 勝ち点合計、勝ち3点、引き分け1点、負け0点
- ② 得失点差
- ③ 総得点
- ④ 当該チーム同士の対戦
- ⑤ 上記項目がすべて同じ場合は同順位で表彰  
但し、順位決定が必要な場合は決定戦を行う

13 競技規則 (公財)日本サッカー協会制定の「サッカー競技規則2022/2023」による。

但し、以下の項目については本大会規則を定める。

- (1)プレーの時間 Kリーグ・Mリーグとも60分
- (2)試合ごとの登録選手 30名まで
- (3)交代要員は19名。Mリーグは再交代を認める。
- (4)テクニカルエリア 設置する(会場により設置できない場合あり)
- (5)ベンチに入れるのは、交代要員選手及び試合当日メンバー表に記載されたスタッフ。
- (6)第4の審判員 おかない
- (7)アディショナルタイム表示 実施しない
- (8)本大会期間中に異なる試合で警告を2回受けた選手は次の1試合に出場できない。
- (9)本大会において退場を命じられた選手は次の1試合に出場できず、それ以降の処置については、第3種規律委員会で決定する。
- (10)社会情勢や悪天候等で期日までにリーグが消化できなかった場合には、下記の条件(ア・イのどちらか)を満たしていればリーグが成立したものとみなし、(ウ)もしくは(エ)により順位を決定する。  
(ア)各リーグ・各ブロックの総試合数の7割以上の試合が実施されている。  
(イ)各チームが所属するリーグ/ブロックを構成する全チームとの対戦を1回以上実施している。

(ウ)1回戦総当たりリーグの場合は、実施できた試合までの勝ち点率で決定する

(エ)2回戦総当たりリーグの場合は、各チームが最初に対戦した1回目の

## 対戦成績で決定する

### 14 選手証及びメンバー表

- (1) 選手証を印刷したもの、または登録選手一覧を印刷したものを選手登録用紙(メンバー表)と一緒に試合前に本部に提出する。写真のない選手は出場できない。  
また、チームで忘れた場合は不戦敗(0-7)とする。
- (2) メンバー表を試合前に相手チームと交換する。

### 15 その他

- (1) 本リーグは自主運営を基本とする。したがって、運営委員が会場に、はりつくことはしない。  
各対戦カードにおいてホームチームを決定し、会場運営を担当する。
- (2) 入れ替え戦等について  
Kリーグ優勝チームの次世代は次年度関東ユースリーグU-13(2部)に自動昇格予定  
Kリーグは群馬県協会長杯U-13大会の予選を兼ねる。(12月末の順位で決定する)  
Mリーグは入れ替え戦等はなし。
- (3) 各チームは会場に於けるマナー注意事項を守る。
- (4) 審判の運営は各チーム有資格審判員を帯同し協力する。
- (5) 試合結果の集約は、代表者会議においてブロック責任者を決め、各会場ごとにホームチームの責任者がブロック責任者へ報告し、ブロック責任者が随時(試合の都度)リーグ事務局に報告する。
- (6) 表彰はKリーグは優勝・準優勝・第3位までのチーム、Mリーグは優勝チームに賞状
- (7) 新型コロナウイルス感染症対策について
  - ① 県サッカー協会第3種委員会が示した「大会再開に向けた感染症拡大予防ガイドライン」を遵守し、大会参加チーム内の選手・スタッフに新型コロナウイルスの感染者が出た場合は、第3種運営委員会で協議し、その後の大会継続を検討する。
  - ② 各チームは、試合前に<様式1>選手健康状態チェック表を、<様式2>大会応援者健康状態申告書を会場運営者に提出すること。提出できない場合は不戦敗(0-7)とする。会場責任者は試合終了後、リーグ事務局に送付すること。  
群馬県警戒度別の対応は下記の通りとする。

群馬県警戒度	リーグ	観戦	ベンチ入り	提出物
0	実施	保護者のみ	大会要項確認	様式1, 2
1	実施	保護者1名まで	大会要項確認	様式1, 2
2	実施を検討	ベンチ外選手のみ	大会要項確認	様式1
3	実施を検討	無観客	大会要項確認	様式1
4	中止	—	—	—

※まん延防止等重点措置の適用期間は大会中断を行う。

- (8) 雷が発生した場合は試合を中断し、建物内や車内に避難させ様子を観る。  
遠ざかったのを確認できれば再開し、残り時間を行う。  
その日に再開不可能な場合は以下の通りとする。
    - ① 中断が後半開始前の場合は、点差にかかわらず再試合。
    - ② 中断が後半の半分を経過していない場合は、点差にかかわらず後日残り試合を行う。
    - ③ 中断が後半の半分を経過していた場合は、試合を成立させる(コールドゲーム)
- ※②の場合、中断した試合に登録されていたメンバーであれば、後日行われる再試合に誰を起用してもよい。(退場者を除く)

(9) 気温35℃以上、WBGT31℃以上の場合は試合を中止または延期とする。中止・延期の判断は試合前に行うものとし、前後半のプレー中に試合を延期・中止しない。試合前に会場責任者が判断する。やむを得ず行う場合は「JFA熱中症対策<A+B>」を講じた上で【Cooling Break】を行う。

- ① ベンチを含む十分なスペースにテントを設置し、日射を避ける。
- ② ベンチ内でスポーツドリンクが飲める環境を整える。
- ③ 各会場に「WBGT計測器」を整える。
- ④ 飲水タイムを通常より長くとる。2~4分の「Cooling Break」を設定する。選手・審判員は以下の行動をとる。
  - ・日陰にあるベンチに入り休息する。
  - ・氷、アイスバッグ等で体を冷やし、必要に応じて着替えをする。

- ・スポーツドリンクを補給する。
- ⑤「Cooling Break」に費やした時間は、その理由によって費やされた時間として前後半それぞれの時間に追加される。